

(8) 診療科目別にみた施設数 (医療施設調査)

一般病院は、「リハビリテーション科」、「神経内科」、「麻酔科」などが前年に比べそれぞれ108施設、67施設、45施設増加し、「産婦人科」、「小児科」、「外科」などが前年に比べそれぞれ56施設、54施設、45施設減少した。(表13)

(参考) 統計表7 診療科目別にみた一般病院数の年次推移 (p.34)

表13 診療科目別にみた病院数 (重複計上)

各年10月1日現在

	一般病院					精神病院				
	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	対前年		施設数に 対する割合 (%)	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	対前年		施設数に 対する割合 (%)
			増減数	増減率 (%)				増減数	増減率 (%)	
総数	8 205	8 222	△ 17	△ 0.2	100.0	1 058	1 060	△ 2	△ 0.2	100.0
内科	7 411	7 403	8	0.1	90.3	687	684	3	0.4	64.9
呼吸器科	2 300	2 278	22	1.0	28.0	16	16	-	0.0	1.5
消化器科 (胃腸科)	4 100	4 093	7	0.2	50.0	24	22	2	9.1	2.3
循環器科	3 349	3 316	33	1.0	40.8	23	22	1	4.5	2.2
小児科	3 474	3 528	△ 54	△ 1.5	42.3	36	33	3	9.1	3.4
精神科	1 372	1 333	39	2.9	16.7	1 058	1 060	△ 2	△ 0.2	100.0
神経科	778	779	△ 1	△ 0.1	9.5	935	940	△ 5	△ 0.5	88.4
神経内科	1 494	1 427	67	4.7	18.2	84	87	△ 3	△ 3.4	7.9
心療内科	345	308	37	12.0	4.2	111	88	23	26.1	10.5
アレルギー科	326	311	15	4.8	4.0	-	-	-	-	-
リウマチ科	802	766	36	4.7	9.8	3	3	-	0.0	0.3
外科	5 553	5 598	△ 45	△ 0.8	67.7	20	21	△ 1	△ 4.8	1.9
整形外科	5 247	5 243	4	0.1	63.9	7	6	1	16.7	0.7
形成外科	848	826	22	2.7	10.3	-	-	-	-	-
美容外科	63	60	3	5.0	0.8	-	-	-	-	-
脳神経外科	2 284	2 269	15	0.7	27.8	7	7	-	0.0	0.7
呼吸器外科	400	389	11	2.8	4.9	-	-	-	-	-
心臓血管外科	702	677	25	3.7	8.6	2	2	-	0.0	0.2
小児外科	303	298	5	1.7	3.7	-	-	-	-	-
産婦人科	1 625	1 681	△ 56	△ 3.3	19.8	-	-	-	-	-
産科	212	203	9	4.4	2.6	-	-	-	-	-
婦人科	636	609	27	4.4	7.8	3	3	-	0.0	0.3
眼科	2 427	2 404	23	1.0	29.6	8	9	△ 1	△ 11.1	0.8
耳鼻いんこう科	2 099	2 089	10	0.5	25.6	3	3	-	0.0	0.3
気管食道科	175	172	3	1.7	2.1	-	-	-	-	-
皮膚科	2 947	2 920	27	0.9	35.9	23	21	2	9.5	2.2
泌尿器科	2 763	2 755	8	0.3	33.7	3	2	1	50.0	0.3
性病科	75	81	△ 6	△ 7.4	0.9	1	1	-	0.0	0.1
こう門科	1 331	1 332	△ 1	△ 0.1	16.2	-	-	-	-	-
リハビリテーション科	4 628	4 520	108	2.4	56.4	48	49	△ 1	△ 2.0	4.5
放射線科	3 644	3 649	△ 5	△ 0.1	44.4	38	39	△ 1	△ 2.6	3.6
麻酔科	2 339	2 294	45	2.0	28.5	8	7	1	14.3	0.8
歯科	1 329	1 341	△ 12	△ 0.9	16.2	212	211	1	0.5	20.0
矯正歯科	123	121	2	1.7	1.5	2	2	-	0.0	0.2
小児歯科	128	121	7	5.8	1.6	2	3	△ 1	△ 33.3	0.2
歯科口腔外科	541	509	32	6.3	6.6	4	4	-	0.0	0.4

3 病院の患者数

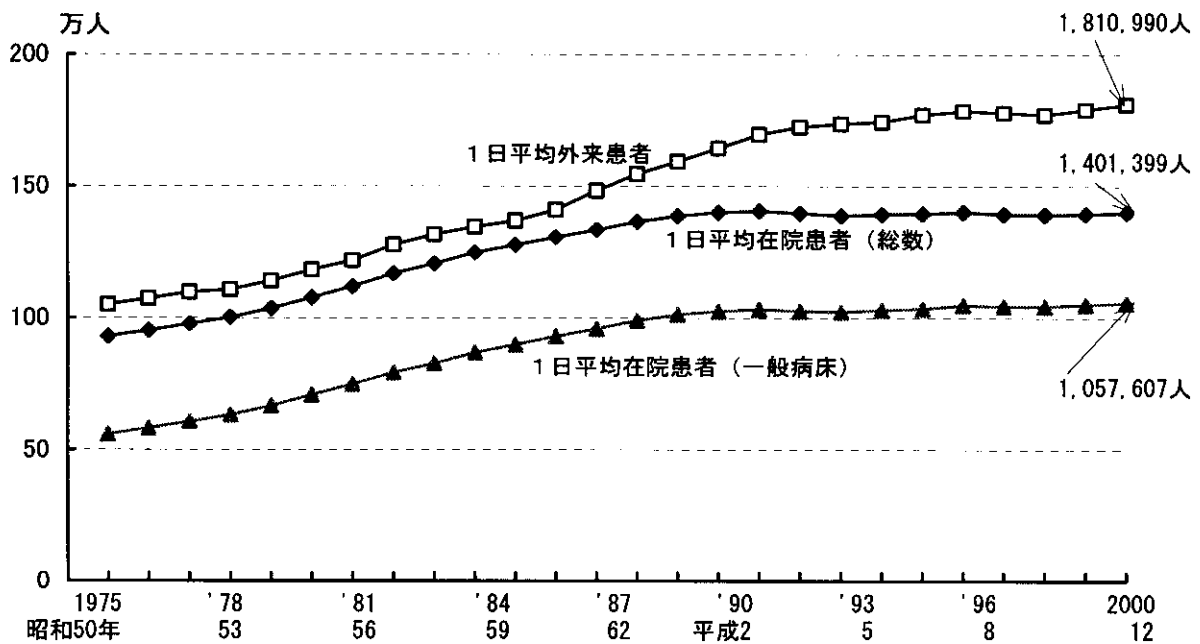
(1) 1日平均患者数（病院報告）

1日平均在院患者数は1,401,399人で前年に比べ5,678人（0.4%）増加し、1日平均外来患者数は1,810,990人で前年に比べ20,901人（1.2%）増加している。（図4）

（参考）

統計表12 年間患者数、病院の種類—病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移（p41）

図4 1日平均患者の年次推移



注：1日平均外来患者数については、現行の算出式で再計算したため、各年の報告書と一致していない。

1) 1日平均在院・新入院・退院患者数

1日平均在院患者数は1,401,399人である。このうち一般病院の1日平均在院患者数は1,157,023人、1日平均新入院患者数は35,271人、1日平均退院患者数は35,253人で前年に比べそれぞれ、0.6%、2.3%、2.2%増加している。（表14）

（参考）

統計表12 年間患者数、病院の種類—病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移（p41）

表14 1日平均在院・新入院・退院患者数

各年間

	1日平均在院患者数			1日平均新入院患者数			1日平均退院患者数			(参考) 6月末病院数	
	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	増減率(%)	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	増減率(%)	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	増減率(%)	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)
総 数	1 401 399	1 395 721	0.4	35 826	35 031	2.3	35 812	35 022	2.3	9 272	9 304
精神病院	244 215	245 458	△ 0.5	554	541	2.4	557	543	2.6	1 058	1 059
一般病院	1 157 023	1 150 044	0.6	35 271	34 490	2.3	35 253	34 479	2.2	8 211	8 241
精神病床	89 498	88 765	0.8	331	312	6.1	331	318	4.1	615	611
一般病床	1 057 606	1 050 107	0.7	34 833	34 063	2.3	34 814	34 046	2.3	8 185	8 228
49床以下	41 731	40 700	2.5	1 487	1 490	△ 0.2	1 505	1 491	0.9	1 540	1 563
50～99	142 335	140 159	1.6	3 595	3 622	△ 0.7	3 590	3 619	△ 0.8	2 452	2 458
100～149	133 895	134 943	△ 0.8	3 145	3 210	△ 2.0	3 133	3 203	△ 2.2	1 334	1 365
150～199	138 463	131 857	5.0	3 406	3 236	5.3	3 403	3 229	5.4	948	907
200～299	165 850	169 191	△ 2.0	5 021	5 065	△ 0.9	5 009	5 062	△ 1.0	820	848
300～399	143 873	144 129	△ 0.2	5 678	5 537	2.5	5 676	5 535	2.5	508	506
400～499	84 008	83 279	0.9	3 756	3 614	3.9	3 751	3 614	3.8	229	229
500～599	71 848	70 810	1.5	3 145	2 960	6.3	3 148	2 960	6.4	153	152
600～699	48 787	47 767	2.1	2 166	2 050	5.7	2 163	2 049	5.6	87	85
700～799	26 244	26 187	0.2	1 069	999	7.0	1 069	1 000	6.9	42	42
800～899	15 226	14 546	4.7	651	589	10.5	650	590	10.2	21	20
900床以上	45 347	46 537	△ 2.6	1 714	1 691	1.4	1 716	1 692	1.4	51	53

- 注：1 総数には結核療養所を含む。
 2 一般病院には感染症病床、結核病床を含む。
 3 精神病床と一般病床の6月末病院数は重複計上である。

2) 1日平均外来患者数

表15 1日平均外来患者数

各年間

1日平均外来患者数は1,810,990人で、前年に比べ20,901人(1.2%)増加している。このうち精神病院では42,358人、一般病院では1,768,619人、前年に比べそれぞれ、1,541人(3.8%)、19,383人(1.1%)増加している。(表15)

(参考)

統計表12 年間患者数、病院の種類-病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移 (p41)

	1日平均外来患者数			(参考) 6月末病院数	
	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	増減率(%)	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)
総 数	1 810 990	1 790 089	1.2	9 272	9 304
精神病院	42 358	40 817	3.8	1 058	1 059
一般病院	1 768 619	1 749 236	1.1	8 211	8 241
20～29床	18 259	19 095	△ 4.4	241	247
30～39	38 861	40 337	△ 3.7	457	479
40～49	62 311	61 875	0.7	692	678
50～99	249 953	250 980	△ 0.4	2 375	2 380
100～149	173 937	176 144	△ 1.3	1 290	1 318
150～199	175 368	165 167	6.2	955	917
200～299	219 110	223 428	△ 1.9	884	907
300～399	258 266	249 410	3.6	588	582
400～499	166 135	165 853	0.2	278	278
500～599	127 844	121 688	5.1	173	170
600～699	92 708	95 341	△ 2.8	115	123
700～799	50 499	48 754	3.6	59	57
800～899	33 900	31 426	7.9	32	33
900床以上	101 467	99 737	3.4	72	72

- 注：1 平成11年分については現行の算出式で再計算したため、報告書と一致していない。
 2 総数には結核療養所を含む。

(2) 都道府県別にみた病院の人口10万対患者数 (病院報告)

1) 1日平均在院患者数

全国の人口10万対1日平均在院患者数を病床の種類別にみると、一般病床では833.2人で前年に比べ4.3人増加し、精神病床では262.9人で前年に比べ0.9人減少している。

これを都道府県別にみると、一般病床では高知県(1,689.1人)が最も多く、次いで熊本県(1,292.5人)、山口県(1,284.4人)となっており、埼玉県(564.1人)、千葉県(576.9人)、神奈川県(581.2人)などが少なくなっている。

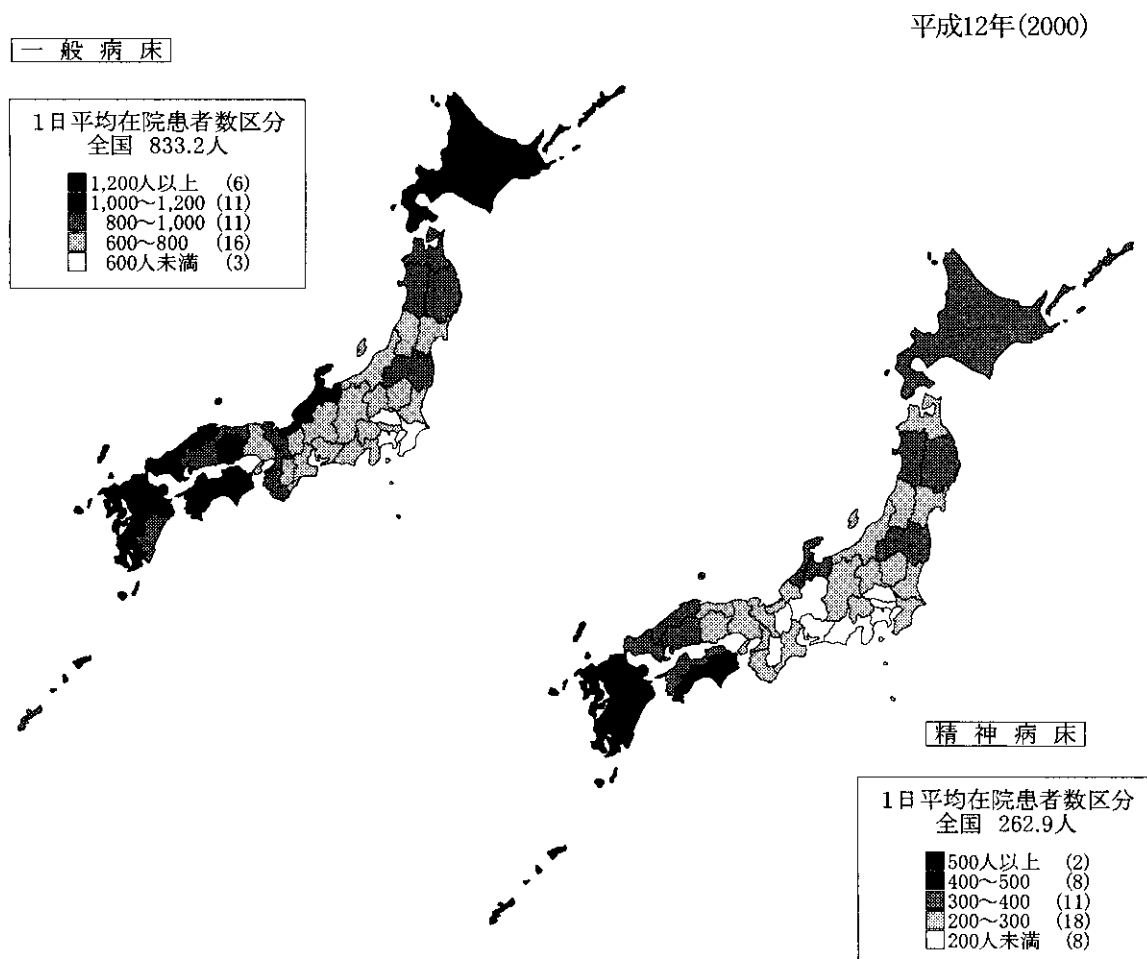
また、精神病床では鹿児島県(544.2人)が最も多く、次いで長崎県(525.4人)、徳島県(499.5人)となっており、神奈川県(148.8人)、滋賀県(162.0人)、静岡県(174.1人)などが少なくなっている。(図5)

(参考)

統計表14 都道府県-13大都市・中核市(再掲)別にみた1日平均患者数(p43)

統計表15 都道府県-13大都市・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数(p45)

図5 都道府県別にみた病院の人口10万対1日平均在院患者数



2) 1日平均外来患者数

全国の人口10万対1日平均外来患者数は1,426.8人で前年に比べ13.8人増加している。

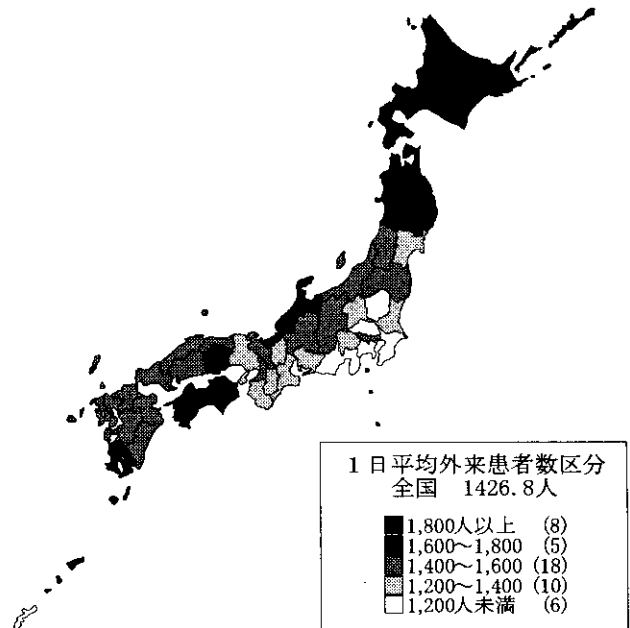
都道府県別にみると、高知県(2190.3人)が最も多く、次いで香川県(1973.7人)、秋田県(1928.6人)となっており、埼玉県(1083.2人)、静岡県(1100.7人)、千葉県(1121.4人)などが少なくなっている。(図6)

(参考)

統計表14 都道府県-13大都市・中核市(再掲)別にみた1日平均患者数(p43)

統計表15 都道府県-13大都市・中核市(再掲)別にみた人口10万対1日平均患者数(p45)

図6 都道府県別にみた病院の人口10万対1日平均外来患者数
平成12年(2000)



(3) 病院の外来/入院比

外来/入院比は、1.29倍で前年に比べ0.01倍増加している。

一般病院の病床規模別にみると、49床以下の小規模病院では2.72倍以上と外来/入院比が高くなっているが、100床以上の病院では1.64倍以下と低くなっており、特に100床以上299床以下の中規模病院では1.34倍以下となっている。(表16)

(参考)

統計表12 年間患者数、病院の種類-病床の種類別にみた1日平均患者数の年次推移(p41)

表16 病院の種類別及び一般病院の病床規模別にみた外来/入院比

	各年間		
	外来/入院比(倍)		
	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	対前年増減
総数	1.29	1.28	0.01
精神病院	0.17	0.17	0.00
一般病院	1.53	1.52	0.01
20~29床	5.39	5.46	△ 0.07
30~39	3.52	3.63	△ 0.11
40~49	2.72	2.80	△ 0.08
50~99	1.82	1.86	△ 0.04
100~149	1.34	1.35	△ 0.01
150~199	1.25	1.24	0.01
200~299	1.23	1.24	△ 0.01
300~399	1.55	1.52	0.03
400~499	1.62	1.64	△ 0.02
500~599	1.64	1.59	0.05
600~699	1.45	1.43	0.02
700~799	1.40	1.36	0.04
800~899	1.49	1.38	0.11
900床以上	1.54	1.51	0.03

注:1 平成11年分については現行の算出式で再計算したため、報告書と一致していない
2 総数には結核療養所を含む。

4 病院の病床利用率

(1) 病床の種類別及び病床規模別にみた病床利用率（病院報告）

全病床における病床利用率は85.2%で前年に比べ0.6ポイント増加している。

病床の種類別にみると、精神病床は93.1%、一般病床は83.8%となっている。

一般病床の病床規模別にみると、500～599床（87.3%）が最も高く、次いで600～699床（87.2%）、800～899床（86.2%）となっており、49床以下（74.3%）、900床以上（81.7%）、50～99床（81.8%）、などが低くなっている。（表17）

（参考）

統計表13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移（p42）

統計表16 都道府県-13大都市・中核市（再掲）別にみた病床利用率及び平均在院日数（p47）

表17 病床の種類別及び病床規模別にみた病床利用率

	各年間 病床利用率 (%)		
	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	対前年 増減
総 数	85.2	84.6	0.6
精 神 病 床	93.1	93.2	△ 0.1
感 染 症 病 床	1.8	1.3	0.5
結 核 病 床	43.8	44.7	△ 0.9
一 般 病 床	83.8	83.2	0.6
49床以下	74.3	71.7	2.6
50～99	81.8	80.7	1.1
100～149	83.8	83.0	0.8
150～199	85.0	84.8	0.2
200～299	84.1	83.5	0.6
300～399	85.0	84.8	0.2
400～499	83.8	83.9	△ 0.1
500～599	87.3	86.7	0.6
600～699	87.2	87.3	△ 0.1
700～799	84.8	84.2	0.6
800～899	86.2	86.5	△ 0.3
900床以上	81.7	81.3	0.4

注：平成11年分については現行の算出式で再計算したため、報告書と一致していません。

5 病院の平均在院日数

(1) 病床の種類別及び病床規模別にみた平均在院日数（病院報告）

平均在院日数は、39.1日で前年に比べ0.7日短くなっており、病床の種類別にみると、精神病床は376.5日、結核病床は96.2日、療養型病床群を除く一般病床は24.8日で前年に比べそれぞれ13.6日、6.3日、2.4日短くなっている。

療養型病床群を除く一般病床の病床規模別にみると、600～699床（21.4日）が最も短く、次いで400～499床（21.5日）、500～599床（21.7日）となっており、100～149床（31.1日）、150～199床（28.6日）、50～99床（28.3日）などが長くなっている。（表18）

表18 病床の種類別及び病床規模別にみた平均在院日数

	各年間 平均在院日数 (日)		
	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	対前年増減
総 数	39.1	39.8	△ 0.7
精 神 病 床	376.5	390.1	△ 13.6
感 染 症 病 床	9.3	11.0	△ 1.7
結 核 病 床	96.2	102.5	△ 6.3
一 般 病 床	30.4	30.8	△ 0.7
療養型病床群を除く 一般病床（再掲）	24.8	27.2	△ 2.4
49床以下	25.0	25.4	△ 0.4
50～99	28.3	31.5	△ 3.2
100～149	31.1	35.1	△ 4.0
150～199	28.6	33.2	△ 4.6
200～299	25.1	28.1	△ 3.0
300～399	22.0	23.9	△ 1.9
400～499	21.5	22.4	△ 0.9
500～599	21.7	23.0	△ 1.3
600～699	21.4	22.8	△ 1.4
700～799	24.5	26.2	△ 1.7
800～899	22.5	23.3	△ 0.8
900床以上	25.1	26.5	△ 1.4

また、一般病床（療養型病床群を除く。）の平均在院日数別に施設数をみると、20～30日未満が2,318施設（一般病床を有する病院数_注の31.2%）と、最も多くなっている。（図7）

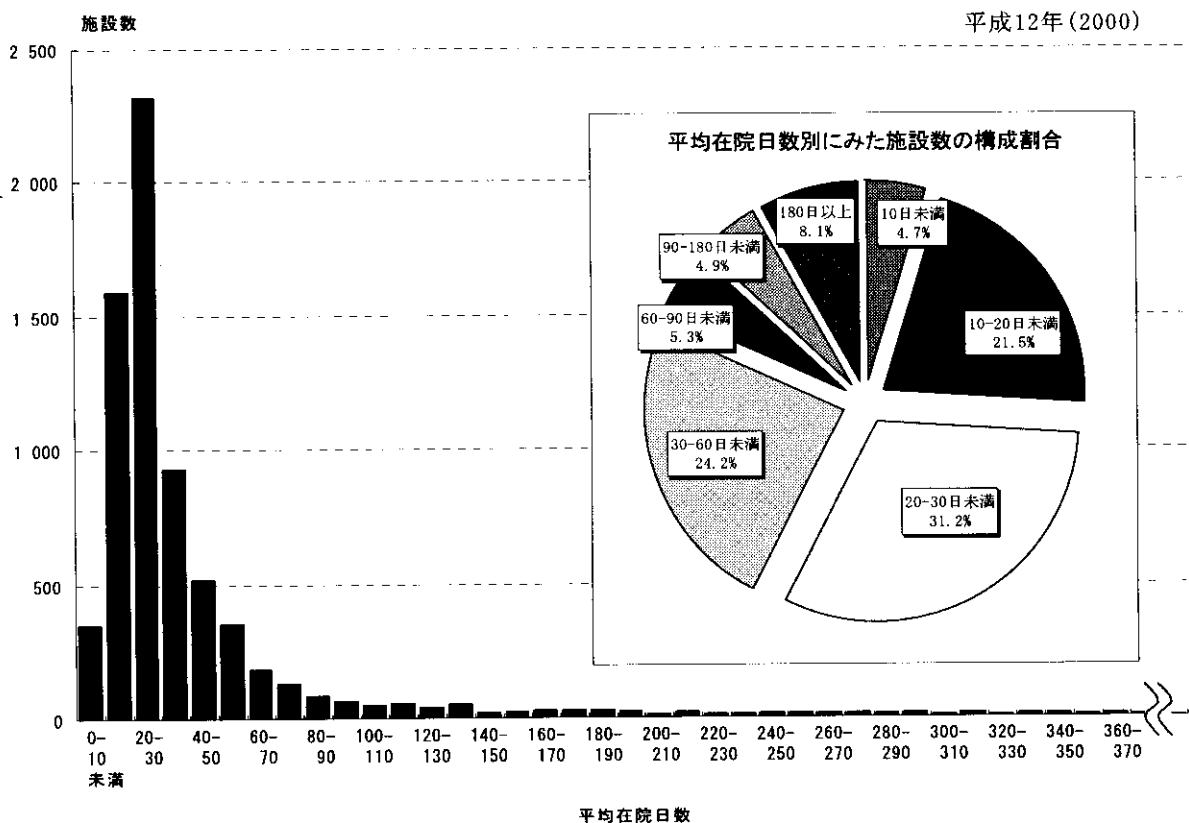
注）一般病床が全て療養型病床群の病院を除く。

（参考）

統計表13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移（p42）

統計表16 都道府県－13大都市・中核市（再掲）別にみた病床利用率及び平均在院日数（p47）

図7 一般病床（療養型病床群を除く）の平均在院日数別にみた施設数



(2) 都道府県別にみた病院の平均在院日数（病院報告）

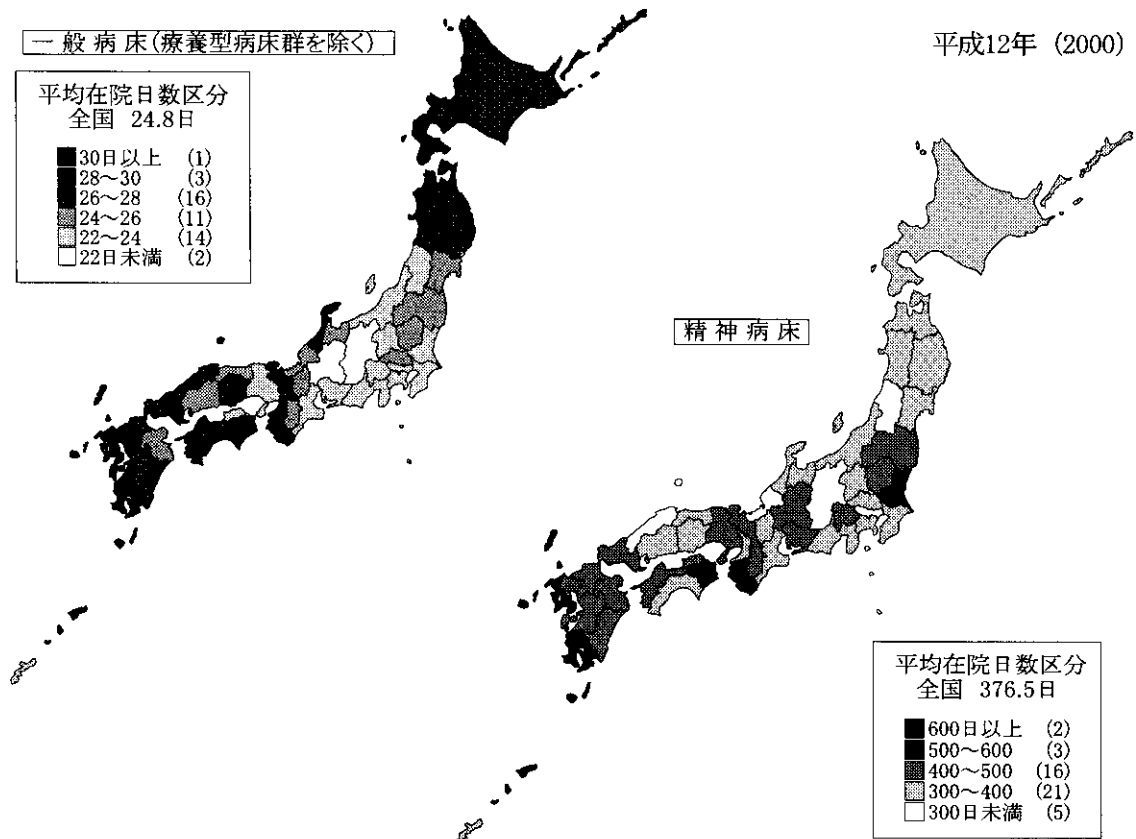
全国の都道府県別平均在院日数を病床の種類別にみると、一般病床（療養型病床群を除く。）では長野県（18.8日）が最も短く、次いで岐阜県（21.9日）、沖縄県（22.3日）となっており、佐賀県（30.6日）、高知県（28.8日）、京都府（28.4日）などが長くなっている。

また、精神病床では山形県（262.2日）及び東京都（262.2日）が最も短く、次いで島根県（268.6日）となっており、徳島県（642.9日）、鹿児島県（601.9日）、長崎県（567.1日）などが長くなっている。（図8）

（参考）

統計表16 都道府県－13大都市・中核市（再掲）別にみた病床利用率及び平均在院日数（p47）

図8 都道府県別にみた病院の平均在院日数



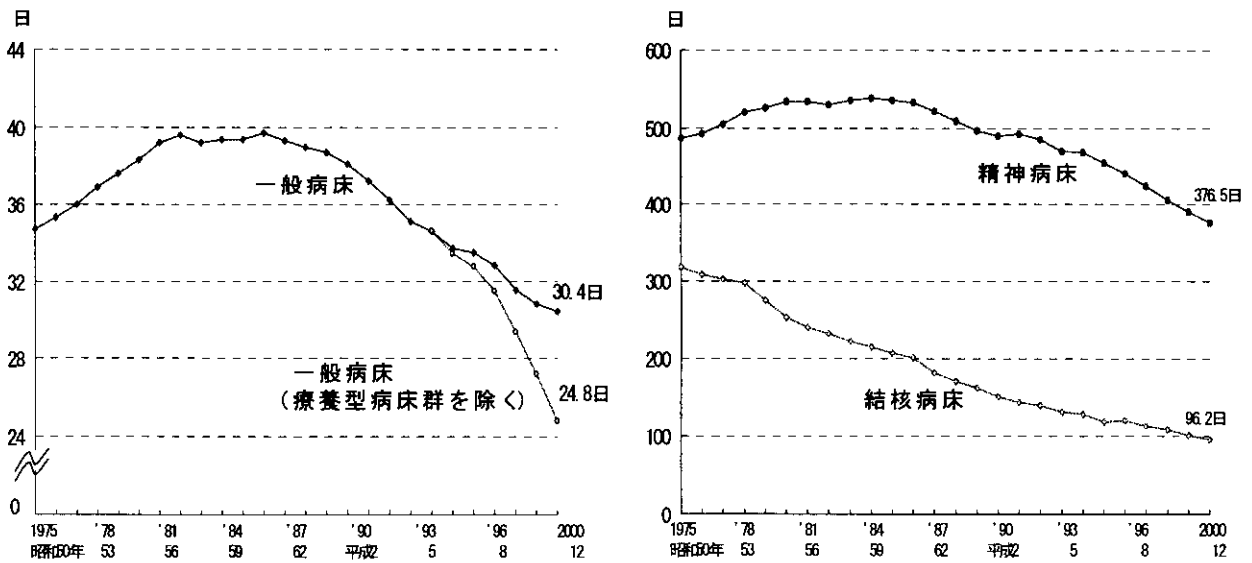
(3) 病床の種類別にみた平均在院日数の年次推移 (病院報告)

一般病床では昭和62年以降、特に療養型病床群を除く一般病床では短縮傾向が著しい。精神病床では平成4年以降短縮傾向である。(図9)

(参考)

統計表13 人口10万対1日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移 (p42)

図9 病床の種類別にみた平均在院日数の年次推移



5 療養型病床群

(1) 療養型病床群の施設数・病床数（医療施設調査）

療養型病床群を有する病院は3,167施設で、前年に比べ940施設（42.2%）増加し、療養型病床群を有する一般診療所は2,508施設で、前年に比べ713施設（39.7%）増加した。

療養型病床群の病床数は263,946床で、前年に比べ80,388床（43.8%）の増加となっている。

（図10、表19）

（参考）

統計表1 施設の種別別にみた施設数・病床数及び人口10万対施設数・病床数の年次推移（p.29）

図10 療養型病床群を有する施設数・病床数の年次推移

各年10月1日現在

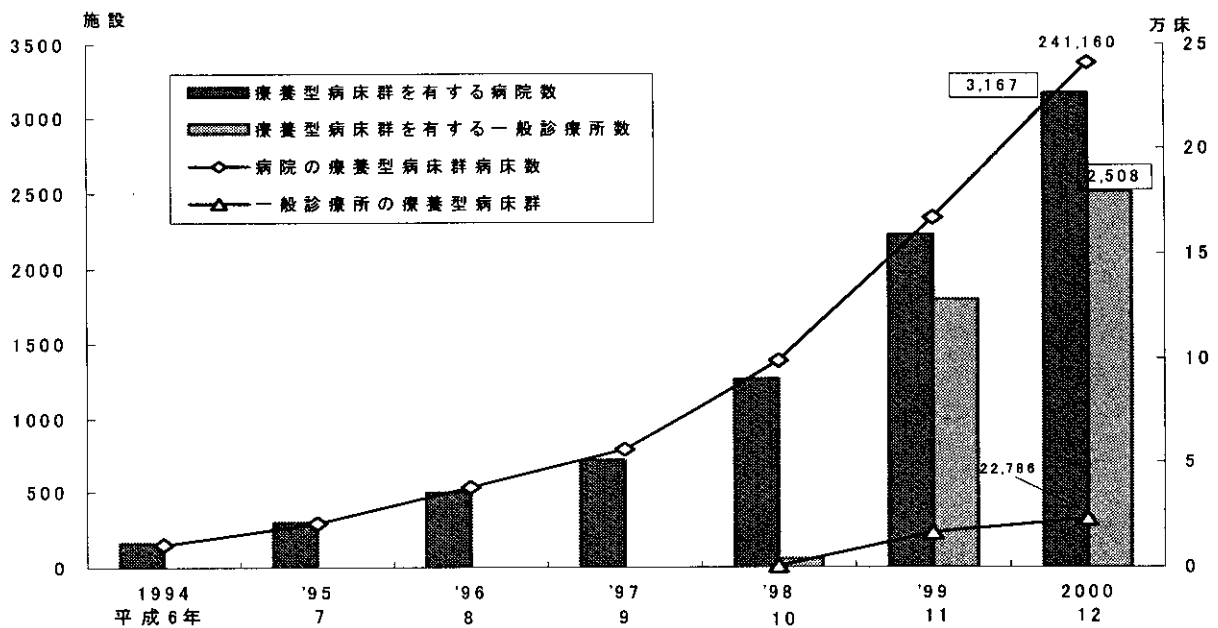


表19 療養型病床群の設置状況

各年10月1日現在

	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	対前年	
			増減数	増減率(%)
療養型病床群を有する施設数				
病院	3 167	2 227	940	42.2
49床以下	1 364	944	420	44.5
50～99	1 071	785	286	36.4
100～299	677	469	208	44.3
300床以上	55	29	26	89.7
一般診療所	2 508	1 795	713	39.7
療養型病床群の病床数	263 946	183 558	80 388	43.8
病院	241 160	167 106	74 054	44.3
49床以下	45 863	32 658	13 205	40.4
50～99	71 741	52 087	19 654	37.7
100～299	101 984	70 040	31 944	45.6
300床以上	21 572	12 321	9 251	75.1
一般診療所	22 786	16 452	6 334	38.5
65歳以上人口10万対療養型病床群の病床数	1 197.5	866.4	331.1	38.2
(再掲) 病院	1 094.2	788.8	305.4	38.7

注：病床規模は、療養型病床群の病床規模である。

(2) 都道府県別にみた 65 歳以上人口 10 万対療養型病床群の病床数 (医療施設調査)

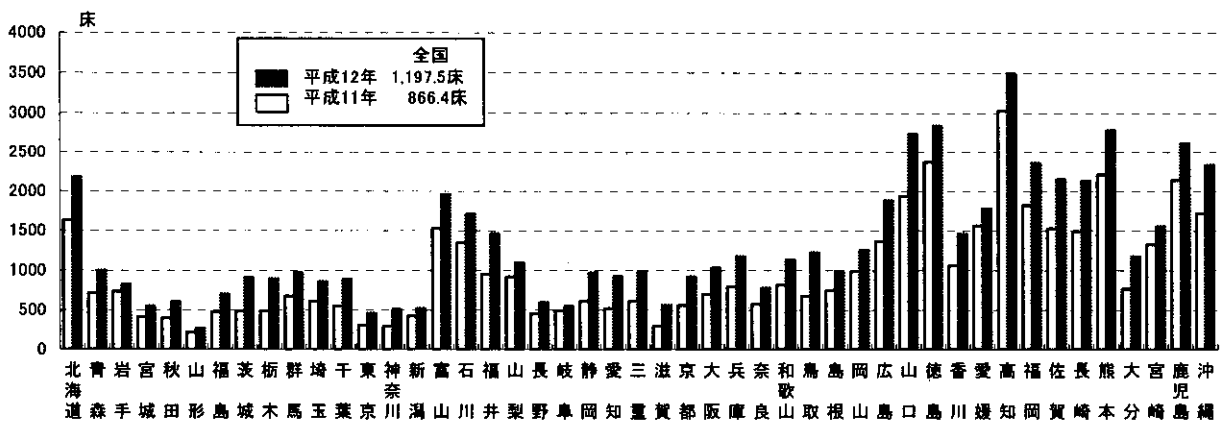
65 歳以上人口 10 万対療養型病床群の病床数は全国で 1,197.5 床であり、前年に比べ 331.1 (38.2%) 増加した。

都道府県別にみると高知県 (3,492.3 床) が最も多く、次いで、徳島県 (2,842.0 床)、熊本県 (2,788.3 床) となっており、山形県 (267.5 床)、東京都 (459.5 床)、神奈川県 (506.2 床) などが少なくなっている。(図 13)

(参考)

統計表 10 都道府県別にみた療養型病床群を有する施設数・病床数及び 65 歳以上人口 10 万対施設数・病床数 (p.39)

図 11 都道府県別にみた 65 歳以上人口 10 万対療養型病床群の病床数



(3) 療養型病床群の患者数 (病院報告)

病院の療養型病床群の 1 日平均在院患者数は 215,448 人で前年に比べ 75,987 人増加し、平均在院日数は、171.6 日である。

診療所の療養型病床群の 1 日平均在院患者は 17,350 人で、平均在院日数は 94.3 日である。(表 20)

(参考)

統計表 12 年間患者数、病院の種類-病床の種類別にみた 1 日平均患者数の年次推移 (p41)

統計表 13 人口 10 万対 1 日平均患者数・病床の種類別にみた病床利用率・平均在院日数の年次推移 (p42)

表 20 療養型病床群の利用状況

	病 院				各年間 一 般 診 療 所	
	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	増減数	増減率 (%)	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)
在院患者延数	78 854 099	50 903 262	27 950 837	54.9	6 350 007	3 673 641
新入院患者数	247 845	162 024	85 821	53.0	47 594	31 325
同一医療機関内の他の病床から移された患者数	245 544	177 836	67 708	38.1	21 568	20 357
退院患者数	372 117	243 283	128 834	53.0	60 477	38 759
同一医療機関内の他の病床へ移された患者数	53 539	32 831	20 708	63.1	5 037	2 477
1 日平均在院患者数	215 448	139 461	75 987	54.5	17 350	10 065
病床利用率 (%)	91.9	91.0	0.9	1.0	78.0	73.2
平均在院日数 (日)	171.6	165.3	6.3	3.8	94.3	79.1

7 従事者の状況

(1) 職種別にみた病院の従事者数 (病院報告)

平成12年10月1日現在、病院の従事者総数（非常勤職員を含む。ただし、「医師」、「歯科医師」については、常勤換算したもの。）は、1,641,418.5人となっている。

(参考)

統計表17 職種別にみた病院の従事者数及び100床当たり従事者数の年次推移 (p49)

統計表18 病床規模別にみた一般病院の100床当たり従事者数 (p50)

統計表19 都道府県—13大都市・中核市 (再掲) 別にみた従事者数及び100床当たり従事者数 (p51)

表21 職種別にみた病院の従事者数

各年10月1日現在

	従 事 者 数					
	総 数		精 神 病 院		一 般 病 院	
	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)
総 数	1 641 418.5	1 621 810.0	149 208.5	146 934.5	1 492 098.2	1 474 727.4
医 師	167 365.8	166 616.7	7 481.8	7 392.6	159 874.2	159 210.0
常 勤	137 487	137 024	5 525	5 517	131 954	131 498
非 常 勤	29 878.8	29 592.7	1 956.8	1 875.6	27 920.2	27 712.0
歯 科 医 師	8 950.7	8 756.3	139.7	127.9	8 811.0	8 628.4
常 勤	7 507	7 290	67	55	7 440	7 235
非 常 勤	1 443.7	1 466.3	72.7	72.9	1 371.0	1 393.4
薬 剤 師	41 071	41 472	2 998	2 951	38 069	38 517
保 健 婦 (士)	2 012	1 868	61	77	1 951	1 791
助 産 婦	17 584	17 255	1	2	17 583	17 253
看 護 婦 (士)	524 578	509 762	37 008	36 224	487 554	473 521
准 看 護 婦 (士)	223 633	230 619	39 702	39 622	183 902	190 957
看 護 業 務 補 助 者	210 857	204 329	25 848	24 901	185 003	179 416
理 学 療 法 士 (P T)	19 025	17 273	114	106	18 911	17 167
作 業 療 法 士 (O T)	9 305	8 014	2 177	1 898	7 128	6 116
視 能 訓 練 士	2 081	1 930	-	-	2 081	1 930
言 語 聴 覚 士	2 485	2 138	16	18	2 469	2 120
義 肢 装 具 士	54	59	-	-	54	59
歯 科 衛 生 士	3 652	3 522	148	128	3 504	3 394
歯 科 技 工 士	906	929	5	6	901	923
診 療 放 射 線 技 師	33 247	32 363	586	552	32 660	31 809
診 療 エックス線技師	656	700	86	90	570	610
臨 床 検 査 技 師	44 826	44 676	952	954	43 872	43 719
臨 床 衛 生 検 査 技 師	370	384	11	12	359	372
臨 床 検 査 技 師 他	1 892	2 032	124	120	1 768	1 912
臨 床 工 学 技 士	6 372	5 873	3	3	6 369	5 870
あ ん 摩 マッサージ 指 圧 師	5 072	5 365	27	27	5 045	5 338
管 理 栄 養 士	14 801	14 765	1 480	1 485	13 318	13 276
栄 養 士	8 283	8 655	1 199	1 241	7 083	7 411
精 神 保 健 福 祉 士	1 912	1 323	1 427	962	485	361
そ の 他 の 技 術 員	19 594	19 704	2 037	2 015	17 557	17 689
医 療 社 会 事 業 従 事 者	8 499	7 856	2 004	2 130	6 495	5 726
事 務 職 員	150 933	150 583	8 930	9 091	141 991	141 473
そ の 他 の 職 員	111 402	112 988	14 643	14 799	96 731	98 159

注：1 非常勤の「医師」「歯科医師」については、各施設における通常の勤務時間に常勤換算したものである。ただし、「医師」「歯科医師」以外については、常勤換算を行っていない。

2 病院の総数には結核療養所を含む。

1) 病院の従事者数 (病院報告)

従事者数を職種別に見ると、「医師」は167,365.8人で前年に比べ749.1人(0.4%)増加している。このうち「常勤医師」は137,487人で前年に比べ463人(0.3%)増加している。

「看護婦(士)」は524,578人で14,816人(2.9%)増加したが、「准看護婦(士)」は223,633人で6,986(3.0%)減少している。(表21)

(2) 職種別にみた病院の100床当たり従事者数 (病院報告)

病院の従事者数を100床当たりで見ると、「総数」は99.7人で前年に比べ1.3人増加している。このうち精神病院の「総数」は57.6人、一般病院の「総数」は107.6人となっている。

職種別にみると、「医師」は10.2人で前年に比べ0.1人増加している。このうち「常勤医師」は8.4人で前年に比べ0.1人増加している。

「看護婦(士)」は31.9人で前年に比べ1.0人増加している。「准看護婦(士)」は13.6人で前年に比べ0.4人減少している。(表22)

(参考)

統計表17 職種別にみた病院の従事者数及び100床当たり従事者数の年次推移 (p49)

表22 職種別にみた病院の100床当たり従事者数

	100床当たり従事者数					
	総数		精神病院		一般病院	
	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)	平成12年 (2000)	平成11年 (1999)
総数	99.7	98.4	57.6	56.4	107.6	106.3
医師	10.2	10.1	2.9	2.8	11.5	11.5
常勤医師	8.4	8.3	2.1	2.1	9.5	9.5
非常勤医師	1.8	1.8	0.8	0.7	2.0	2.0
歯科医師	0.5	0.5	0.1	0.0	0.6	0.6
非常勤歯科医師	0.5	0.4	0.0	0.0	0.5	0.5
非常勤歯科医師	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
薬剤師	2.5	2.5	1.2	1.1	2.7	2.8
保健師	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
助産婦	1.1	1.0	0.0	0.0	1.3	1.2
看護婦	31.9	30.9	14.3	13.9	35.2	34.1
准看護婦	13.6	14.0	15.3	15.2	13.3	13.8
看護補助者	12.8	12.4	10.0	9.6	13.3	12.9
理学療法士	1.2	1.0	0.0	0.0	1.4	1.2
作業療法士	0.6	0.5	0.8	0.7	0.5	0.4
視覚聴覚訓練士	0.1	0.1	-	-	0.2	0.1
言語聴覚士	0.2	0.1	0.0	0.0	0.2	0.2
義肢装具士	0.0	0.0	-	-	0.0	0.0
歯科技術士	0.2	0.2	0.1	0.0	0.3	0.2
歯科技工士	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
診療放射線技師	2.0	2.0	0.2	0.2	2.4	2.3
診療エックス線技師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
臨床検査技師	2.7	2.7	0.4	0.4	3.2	3.2
臨床衛生検査技師	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1
臨床工学技士	0.4	0.4	0.0	0.0	0.5	0.4
あん摩マッサージ指圧師	0.3	0.3	0.0	0.0	0.4	0.4
管理栄養士	0.9	0.9	0.6	0.6	1.0	1.0
栄養士	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
精神保健福祉士	0.1	0.1	0.6	0.4	0.0	0.0
その他技術員	1.2	1.2	0.8	0.8	1.3	1.3
医療社会事業従事者	0.5	0.5	0.8	0.8	0.5	0.4
事務職員	9.2	9.1	3.4	3.5	10.2	10.2
その他職員	6.8	6.9	5.7	5.7	7.0	7.1

注：1 非常勤の「医師」「歯科医師」については、各施設における通常の勤務時間に常勤換算したものである。ただし、「医師」「歯科医師」以外については、常勤換算を行っていない。
2 病院の総数には、結核療養所を含む。

1) 都道府県別にみた病院の100床当たり医師、看護婦（士）・准看護婦（士）数（病院報告）

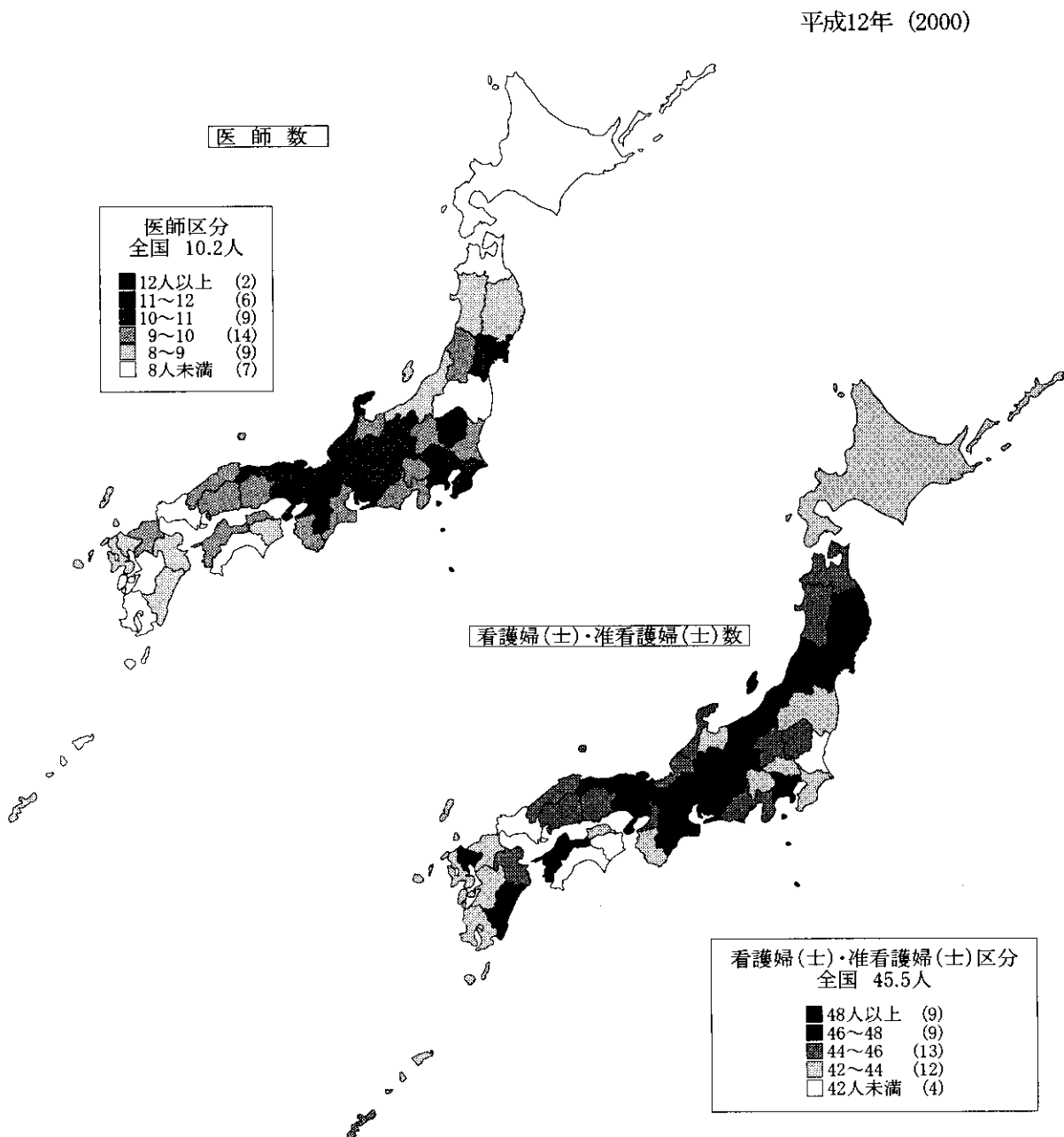
「医師」は東京都(16.4人)、神奈川県(12.7人)、滋賀県(11.8人)などが多くなっている。

「看護婦（士）・准看護婦（士）」は滋賀県(52.1人)、長野県(50.6人)、山形県(50.2人)が多くなっている。（図12）

（参考）

統計表19 都道府県→13大都市・中核市（再掲）別にみた従事者数及び100床当たり従事者数（p51）

図12 都道府県別にみた病院の100床当たり医師、看護婦（士）・准看護婦（士）数

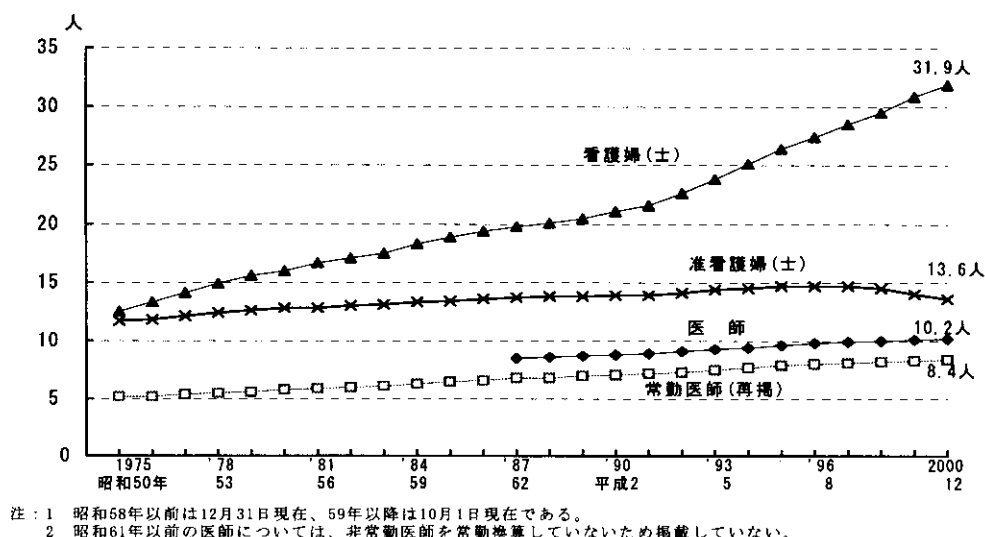


2) 病院の100床当たり従事者数の年次推移 (病院報告)

「常勤医師」は昭和50年には5.2人であったが、平成12年には8.4人となっている。また、「看護婦(士)」は12.5人であったが、年々増加し平成12年には31.9人となっている。(図13)
(参考)

統計表 17 職種別にみた病院の従事者数及び100床当たり従事者数の年次推移 (p49)

図13 病院の100床当たり医師、看護婦(士)・准看護婦(士)数の年次推移



3) 病床規模別にみた一般病院の100床当たり従事者数 (病院報告)

「医師数」は「150～199床」が最も少なく、それ以上では病床規模が大きいほど多い傾向にある。また、「看護婦(士)」と「准看護婦(士)」では、「500～599床」まで病床規模が大きいほど多く、「看護婦(士)」の割合が大きい傾向にある。(図14)

(参考)

統計表 18 病床規模別にみた一般病院の100床当たり従事者数 (p50)

図14 病床規模別にみた一般病院の100床当たり医師、看護婦(士)・准看護婦(士)数

